

大学図書館問題研究会東京地域グループ
2019/2020年度総会議案

1.	第1号議案	1
1.1.	2018/2019年度活動総括	1
1.2.	2018/2019年度決算報告・会計監査報告	3
2.	第2号議案	3
2.1.	2019/2020年度活動方針	3
2.2.	2019/2020年度予算案	4
2.3.	2019/2020年度地域グループ運営委員会及び会計監査人	4
2.4.	『d-tokyo: 大学図書館問題研究会東京地域グループニュースレター』投稿要領	4

1. 第1号議案

- 1.1. 2018/2019年度活動総括
担当者の口印は責任者を示す。

① 特記事項

1. 編集小委員会からの依頼により、会報『大学の図書館』7月号の編集を担当した。
テーマ：大学図書館における共創型イベントの実践例

② 研究企画（担当：全運営委員・オブザーバ）

例会を2回、関東地域グループ合同例会を1回開催した。

- 第1回例会
日時：2018年11月25日（日）11:00-13:00 ※終了後、懇親会を開催
会場：東京大学総合図書館
テーマ：東京大学総合図書館見学会
参加者数：25名
- 関東地域グループ合同例会
日時：2019年1月26日（土）15:00-16:30 ※終了後、懇親会を開催
会場：東洋英和女学院大学 六本木キャンパス
テーマ：大学アーカイブズの理念と活動・実践～東北大学史料館を事例に～
講師：加藤 諭氏（東北大学史料館 准教授）
共催：埼玉地域グループ、千葉地域グループ
参加者数：25名
- 第2回例会
日時：2019年5月25日（土）10:00-12:30 ※終了後、懇親会を開催
会場：共立女子大学・短期大学図書館
テーマ：共立女子大学・短期大学図書館見学会
参加者数：11名

③ 広報（担当：駒崎）

1. 東京地域グループの情報発信の拠点として、Webサイトの安定運用に努めた（<https://daitoken.com/tokyo>）。Webサイトでは、ニュースレター、運営委員会記録、例会のお知らせ等を掲載した。
2. 以下のとおり、ニュースレターを4回発行した。
・242号（2018年10月）/243号（2019年1月）/244号（2019年5月）/245号（2019年6月）
なお、PDF版については、東京地域グループのWebサイト上で公開している（<https://daitoken.com/tokyo/newsletter.html>）。
3. 東京地域グループメーリングリスト（d-tokyo@daitoken.com）を用いて、例会等のお知らせを行った。なお、登録アドレス数は2019年6月24日現在で104件（昨年度より3件増）である。
4. 大学図書館問題研究会（全国）のメーリングリストを活用し、東京地域グループ主催の企画等周知に努めた。
5. 東京地域グループ公式のTwitter（アカウント@dtk_tokyo）を活用し、例会の案内等を行った。なお、ツイート数は合計90件、フォロワー数は57名である（2019年6月24日現在）。

④ 事務局（担当：野埼）

2018/2019年度期首会員数は114名で、新規加入会員2名、他地域グループからの移籍会員0名（以上、増加2名）、退会会員は4名（減少4名）であった。現在の会員数は116名（2019年6月30日現在）である。

⑤ 会計（担当：青山，山口）

1. 地域グループ活動費については全国事務局会費徴収担当より3回（7月，1月，6月）に分けて振込があった。過年度の未収金については全国委員会資料「会費長期（3年度分）未納者リスト」を基に郵送による督促（1月，12名）を行い，4名から総額21,500円の入金があった。
2. 支出については，例会が予定より1回少なかったこと，運営委員会のオンライン実施，地域グループニュースレターの電子化切り替え等により予算案に対して支出減となった。

⑥ 地域グループ運営委員会活動報告（担当：松原）

1. 下記の分担により東京地域グループの運営を行った。
 - a. 代表：松原
 - b. 副代表：立原
 - c. 事務局（含：組織）：野埼
 - d. 研究企画：全員（オブザーバ含む）
 - e. 広報・ニュースレター：駒崎
 - f. 会計：青山，山口
 - g. 全国委員：山口
 - h. 全国大会検討WGメイン担当：山口，立原
 - i. オブザーバ：石津，上村，江沢，武井，西脇

2. 2018年9月から2019年6月まで，以下のとおり地域グループ運営委員会を開催した。

回	年月日	開始時刻	終了時刻	会場
1	2018/9/28	19:30	22:00	オンライン
2	2018/10/15	19:00	20:45	ルノアール新宿3丁目店
3	2018/11/16	19:00	21:00	オンライン
4	2018/12/19	19:00	21:00	ルノアール新宿3丁目店

5	2019/1/22	19:00	21:20	オンライン
6	2019/2/13	19:00	21:20	デニーズ南新宿店
7	2019/6/20	19:00	22:15	オンライン

地域グループ運営委員会は月 1 回程度開催することを方針としていたが、2018/2019 年度東京支部総会による運営委員の決定が 2018 年 8 月だったため、運営委員会は 9 月から開催した。また、2019 年 3 月から 5 月は、地域グループ代表の繁忙により運営委員会を招集することができず、グループウェア上のみで組織・研究企画・広報・会計・全国委員関係の各業務を実施することとなってしまう点については今年度の反省であり、次年度は計画的に運営委員会を開催できるよう留意したい。

なお、今年度も継続して、約 2 回に 1 回をオンライン (Google ドキュメントを使用したテキストチャット) で開催したことで、時間調整が難しいメンバーも参加することができた。

地域グループ運営委員会の議事要旨については、大学図書館問題研究会東京地域グループ Web サイト (<http://www.daitoken.com/tokyo/>) にて公開している。

また、運営委員会の作業をスムーズに行うため、サイボウズ Live と Office365 を利用してきたが、サイボウズ Live がサービス終了 (2019 年 4 月) したため、新たなグループウェアとして Backlog の無料サービスを活用することとし、サイボウズ Live からスムーズに移行することができた。

7 全国大会検討 WG

2020 年に東京での開催が予定されている全国大会に向けて、東京地域グループの会員を主とした検討 WG を立ち上げた。キックオフとして 2018 年 12 月 26 日集合の打合せを行い、これまで常任委員会や全国委員会で検討された情報を共有し、会場候補について意見交換を行った。ML を中心に検討事項や会場候補の共有を行った。

1.2. 2018/2019 年度 決算報告・会計監査報告 (別紙)

2. 第 2 号議案

2.1. 2019/2020 年度 活動方針

① 研究企画

以下を目的として、年 3 回程度の講演や見学会等の企画を実施する。また、会報『大学の図書館』編集を 1 号分担当し、東京地域グループをアピールする。

- a. 地域グループ会員による発表の場の提供
- b. 地域グループ会員の専門的知識の獲得と専門的スキルの向上
- c. 他地域グループ・研究グループ・他組織との交流

講演会の実施に際しては、運営委員勤務校のほか、公共施設や民営貸会議室等多様な会場での実施を検討し、ノウハウを蓄積する。

引き続き、会員からの意見をより企画に反映できるよう留意する。

② ニュースレター「d-tokyo : 大学図書館問題研究会東京地域グループニュースレター」

以下を目的として、年 4 回程度の発行を目指す。

- a. 地域グループ会員への情報提供
- b. 地域グループ会員間の交流
- c. 地域グループ会員による発表の場の提供

また、2018/2019 年度に引き続き、印刷費・通信費の削減を図るため、(1)紙媒体の郵送、(2)電子版

のみ、の選択肢を用意し、積極的に電子版のみの希望者を募る。

③ 広報

東京地域グループの活動を地域グループ内外に報知し、適切な情報提供・情報共有を行い活発な交流の場を実現するために、ウェブサイト、ニュースレター、メーリングリスト、Twitter を活用する。特に Twitter は、アカウントを開設して4年目に入ることから、ツイート数をさらに増やし、地域グループの活動を広く伝えるツールとして積極的に活用する。

④ 組織

全国組織との情報乖離がないよう常任委員会組織担当との連携をさらに強化する。
財政担当・広報担当とも密接な連携を図った上で、入会するメリットを具体的にアピールし、会員勧誘に努める。

⑤ 会計

引き続き、収支バランスの適正化を図る。また、過年度会費未納者の督促を行う。

⑥ 地域グループ運営委員会

月1回程度の打合せを行い、東京地域グループの運営を合議によって決定する。委員会の開催にかかる会場費、交通費、委員の移動時間等のコストを節減し、かつスムーズに運営に関わる事項を決定できるよう、2ヶ月に1回程度は、オンライン打ち合わせを実施する。

グループウェア Backlog, Office365 を継続して活用する。

⑦ 全国大会検討WG / 全国大会協力WG

東京で開催予定の2020年全国大会を翌年に控え、全国大会検討WGで会場・日程について常任委員会に提案を行う。その後、検討WGを発展させた東京地域グループの会員による協力WGを立ち上げ、全国大会実行委員会との協力のもと、受け入れ地域として会場との調整等を行う。

2.2. 2019/2020年度 予算案

(別紙1)

2.3. 2019/2020年度 地域グループ運営委員会及び会計監査人

※総会当日に提案するものとする。

2.4. 『d-tokyo: 大学図書館問題研究会東京地域グループニュースレター』投稿要領

東京地域グループが発行する標記ニュースレターは、会員間の交流、東京地域グループ会員による発表の場の提供を目的とし、会員からの寄稿を受け付けている。その投稿要領を別紙2のとおり定めることを提案する。

以上

『d-tokyo: 大学図書館問題研究会東京地域グループニュースレター』
投稿要領（案）

1. 投稿資格

大学図書館問題研究会東京地域グループの会員を対象とします。

2. 原稿の形式

本文は1,000字～1,500字程度（図表、参考文献、脚注等を含む）とし、タイトルをつけてください。また、原稿中に氏名・所属を明記してください。

3. 提出方法

原稿（MS-Word ファイル形式もしくはテキスト形式）をE-mailで tokyo[at]daitoken.com に送付してください。

4. 投稿記事の掲載および公開

投稿された原稿は、東京地域グループ運営委員会が確認し、掲載の採否および掲載号を決定します。掲載が決定した場合、東京地域グループニュースレターの紙版および東京地域グループウェブサイト内の電子版として公開されます。

5. 著作権

掲載される記事の著作権は著者に帰属します。また、著作権に関する事項は、「大学図書館問題研究会出版物掲載記事の著作権規程」に準じます。

6. 著者による電子的公開

『東京支部報』および『東京地域グループニュースレター』に掲載された記事の著者自身による電子的公開は、次の条件で許可しています。公開にあたって東京地域グループ運営委員会への申請は不要です。

- ・利用は著作権の範囲内に限られる旨の表示を行うこと
- ・出典を明記すること
- ・出版者版は利用可能、ただし他記事の写り込みは削除すること